

2023年度

町田こぼと幼稚園自己評価表

園の基本精神 生まれてきたことを喜び、感謝し、誇りをもって生きる
園の教育理念 個性を伸ばし、自立心・自律心をもって互いに思いやりのある行動がとれる人間を育てる

具体的方針

- ・ より平和な世界の構成に貢献するために、広い知識とコミュニケーション力を獲得します。
- ・ 子どもの遊びや好奇心から始まる探究を通じ、考える力を養います。
- ・ 他者の正義をも尊重できる人格の形成に努めます。
- ・ さまざまな実体験を通じ、共に生きるための問題解決力と行動力を育みます。
- ・ 自己を肯定し表現します。

1-(1). 2023年度園目標設定（年間保育案等）

参加者：神蔵聖子（園長）・神蔵かおる・渡邊・池上・丹野・田中み・岩間・大川・堀口・松井・林・山下・江上・本山・尾方・市丸・外間・中嶋・村上・宗・三原

a	環境整備に努め、園児の安全面に配慮して基礎体力を育むよう指導する。 (特にコロナの状況で、体力が落ちている子どもが大勢いると思われるため)
b	基本的な生活習慣を自主的に行えるよう指導する。 基本的な生活習慣“に沿った行動を”自主的に行えるよう指導する。
c	子ども達が学習者像を理解し、積極的に行動するように促す。

1-(2).1-(1)に対する具体的な方策

	対象目標番号	方策		判定
ア	a	基本案	戸外での活動を増やし、安全面に配慮しながら基礎体力の向上を目指す	A
		修正案	室内の活動を充実させ、（午後のホールの活用など）×戸外での活動を増やし	
		修正案		
イ	a	基本案	各教室のコーナーづくり ※言語（聞き方、*話し方、書き方、読み方）、数と量のフェーズに応じて担任は設定変更をする	B
		修正案	*相手の気持ち・立場を考え、思いやりながら（言葉遣いなど） *教師は肯定的な言葉を使うことで手本を示す	
		修正案		
ウ	a・b	基本案	子ども達が安心して過ごせるように環境整備に努めると共に、職員は広い視野を持ち、報告・連絡・相談を密に行う。怪我などの場合はすぐに保護者に連絡をとる。連絡が遅れた事があり、それを踏まえ再発を防止する。園内での連絡だけでなく、*保護者との連絡も密にする。	B
		修正案		
エ	b	基本案	手洗いうがい及びハンカチで手の拭き方、鼻のかみ方を徹底する	B
		修正案		
		修正案		
オ	c	基本案	他クラス他学年との交流と「えほんの広場」・図書の活用を通し、学習者像の理解を深められるようにする	B
		修正案		
		修正案		

●基本案は年度初めに設定し、それに対する修正がある場合は学期末毎に修正案を作成する。

●判定は年度末に行う。

判定 : A=成果が得られた B=どちらとも言えない C=成果が得られなかった

2-(1). 1学期末途中判定

参加者:神蔵聖子(園長)・神蔵かおる・渡邊・池上・丹野・田中み・岩間・大川・堀口・松井・林・山下・江上・本山・尾方・市丸・外間・中嶋・村上・宗・三原

	具体的な方策への 実施の判定	出来なかった場合その理由及び来学期の試案
1-(2)-7	A・B・C	
1-(2)-イ	A・B・C	コーナー整備に改善点がある
1-(2)-ウ	A・B・C	
1-(2)-エ	A・B・C	年長児になると、ハンカチを取り出さずにそのまま過ごす姿がみられた
1-(2)-オ	A・B・C	他クラス、他学年との意図的な交流の時間を設定できなかった

2-(2). 2学期末途中判定

参加者:神蔵聖子(園長)・神蔵かおる・渡邊・池上・丹野・田中み・岩間・大川・堀口・松井・林・山下・江上・本山・尾方・市丸・外間・中嶋・村上・宗・三原

	具体的な方策の 実施の有無	出来なかった場合その理由及び来学期の試案
1-(2)-7	A・B・C	
1-(2)-イ	A・B・C	きつい言葉遣いの子どもが何人かいる
1-(2)-ウ	A・B・C	
1-(2)-エ	A・B・C	年少児の鼻のかみ方について、統一の方法を提示するべきだった
1-(2)-オ	A・B・C	絵本の広場の活用と、学習者像の理解を更に深めたい。

2-(3). 年度末最終判定

参加者: 神蔵聖子(園長)・神蔵かおる・渡邊・池上・丹野・田中み・岩間・大川・堀口・松井・林・山下・江上・本山・尾方・市丸・外間・中嶋・村上・宗・三原

	具体的な方策の 実施の有無	年間の振り返り
1-(2)-ア	○A・B・C	
1-(2)-イ	A・○B・C	影響力のある子どもの望ましくない態度を、他児が真似する姿がみられた
1-(2)-ウ	A・○B・C	教員のみていない場面で、子どもがちょっかいを出されているとの申し出もあった
1-(2)-エ	A・○B・C	年少児への鼻のかみ方は提示できたが、年長児は、面倒さからかハンカチで手を拭かない場面をよくみかけた
1-(2)-オ	A・○B・C	絵本の広場の活用を増やし、更に園児同士の交流と学習者像の理解を深めてほしい

学校評価委員会による評価

ア	戸外での活動を増やし、安全面に配慮しながら基礎体力の向上を目指す 健康で、外遊び好きな子ども達が多い。引き続き自由遊びをだいじにしてほしい。
イ	各教室のコーナーづくり ※言語（聞き方、*話し方、書き方、読み方）、数と量のフェーズに応じて 担任は設定変更をする 数の理解について、もうすこし専門的なコーナーがあると良い。
ウ	子ども達が安心して過ごせるように環境整備に努めると共に、職員は広い視野を持ち、報告・連絡・相談を密に行う。怪我などの場合はすぐに保護者に連絡をとる。連絡が遅れた事があり、それを踏まえ再発を防止する。園内での連絡だけでなく、*保護者との連絡も密にする。 現在は連絡方法が様々あるが、保護者とむきあうことは無くならない。誠意が伝わるように努めてほしい。
エ	手洗いうがい及びハンカチで手の拭き方、鼻のかみ方を徹底する 手洗いの習慣、鼻をかむなどは、生涯にわたり必要なものである。一番初めを丁寧に伝えていきたい。
オ	他クラス他学年との交流と「えほんの広場」・図書の利用を通し、学習者像の理解を深められるようにする ・園児の「えほんの広場」活用は、子ども達の興味を刺激し、実際にスキルを伸ばすことにも繋がっている。 ・保護者向けのイベントにもたくさんの関心が集まり、幼稚園の基本的な考え方が伝わっているように感じる。 えほんの広場の活用の幅を広げてほしい。園児同士の交流の時期は検討する余地がある。

2023年度教職員研修参加状況

	研修名(テーマ)	開催者	参加者
1	I B カテゴリー1 研修	I B O	江上友理奈、安原千穂
2	AED講習	ライフネット	教職員全員
3	サイバードリーム研修	幼年教育出版	教員全員
4	幼稚園協会研修	町田市私立幼稚園協会	教員全員
5	大迫先生講話「ことばの教育」	大迫弘和先生 <small>海城高校校長</small>	教員全員
6	リズム(リトミック)・発達段階の園内研修	神藏香保	教員全員

(その他の研修も参加あり)

